

令和2年度当初予算 復活見積調書(市長)

教育委員会事務局

■一般会計

(金額:千円)

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		部長間調整後		復活見積額	財 源 内 訳					査定額	財 源 内 訳					査 定 額	査 定 果		
						一財	二財	一財	二財		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源				
1	教育総務課	中学校施設維持管理費	高穂中学校図書室復旧工事実施設計業務	令和元年度に教室不足が見込まれたことから、図書室を普通教室2室に、金工室を図書室に改修する工事を実施しました。このことにより、様々な面で学校運営に多大なる影響を与えております。本業務は教室不足の対応により転用した図書室および金工室について、あるべき姿を取り戻す工事を行うため、設計業務を行うものです。	工期 R2年6月～R3年2月	2,944	744	0	0	2,944	0	0	2,200	0	744	0	0	0	0	0	0	0	0	0	市長査定により、課題整理の状況から、措置しませんでした。
2	教育総務課	中学校給食センター整備費	(仮称)草津市第二中学校給食センター建設工事費および中学校配膳室増築工事費	平成29年2月策定の「草津市中学校給食実施基本計画」に基づき、センター方式による中学校給食を実施することにより、中学校生徒の健康の保持・増進や給食を通じた食育推進に取り組むものです。	令和2年2月～8月 建築敷地造成工事 令和2年夏頃～令和3年夏頃 給食センター建設工事 令和2年秋頃～令和3年春頃 職員用駐車場他整備工事	2,458,582	518,714	79,994	9,194	2,328,804	167,868	0	1,655,800	0	505,136	2,328,804	167,868	0	1,656,000	0	0	0	504,936	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。	
3	教育総務課	中学校給食センター整備費	(仮称)草津市第二中学校給食センター建設工事費(債務負担)	平成29年2月策定の「草津市中学校給食実施基本計画」に基づき、センター方式による中学校給食を実施することにより、中学校生徒の健康の保持・増進や給食を通じた食育推進に取り組むものです。	令和2年2月～8月 建築敷地造成工事 令和2年夏頃～令和3年夏頃 給食センター建設工事 令和2年秋頃～令和3年春頃 職員用駐車場他整備工事	1,082,546	226,234	0	0	1,082,576	111,912	0	744,300	0	226,364	1,082,600	111,912	0	744,300	0	0	226,388	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。		
4	教育総務課	中学校給食センター整備費	(仮称)草津市第二中学校給食センター調理・洗浄等委託費(債務負担)	平成29年2月策定の「草津市中学校給食実施基本計画」に基づき、センター方式による中学校給食を実施することにより、中学校生徒の健康の保持・増進や給食を通じた食育推進に取り組むものです。	令和2年10月頃～ 業者選定 令和3年1～2月頃 業務委託契約締結	0	0	0	0	118,500	0	0	0	0	118,500	0	0	0	0	0	0	0	0	市長査定により、課題整理の状況から、措置しませんでした。	
5	生涯学習課	文化振興費	文化振興に関する市政広報ラジオ番組	草津市文化振興計画では、市民誰もが等しく文化に触れることができる機会の充実を基本方向の1つとし、基本施策3「情報の収集および発信の充実」では、誰もが情報を容易に得ることができる媒体の活用や、様々な機会を活用して積極的な情報発信を行うとしています。地域に密着した情報を発信でき、加えてインターネットによるオンデマンド放送を通じて市外にも広く情報を発信できる構えふむ草津の番組を活用して、情報発信を図ります。	【俳句5・7・Go!の時間】 放送:毎月第3週金曜日12:30～(30分)、再放送2回 内容:草津市の俳諧の祖「山崎宗鑑」生誕の地であることちなみ、俳句のまちづくり事業を進めており、各俳句の取り組みを紹介し、 【意外と知らない草津の歴史】 放送:毎月第2週金曜日13:00～(30分)、再放送2回 内容:日本遺産に登録されたサンヤレ踊りをはじめ今日まで守り伝えられてきた歴史文化の価値や魅力を紹介します。	2,025	2,025	0	0	2,025					2,025	0								0	市長査定により、課題整理の状況から、措置しませんでした。
6	歴史文化財課	芦浦観音寺管理運営費	史跡芦浦観音寺跡整備費	本市が「管理団体となっている史跡芦浦観音寺跡について、国庫補助を得ながら適正な保存・活用を図るため、基本設計の作成および設計に伴う埋蔵文化財の調査を実施します。基本設計により今後、国の補助事業による史跡の具体的な整備事業を行うことができます。	基本設計業務:懇話会を3回開催し、これまでの計画を基に、基本設計を作成します。 発掘調査業務:基本設計に必要な船着き場、土塁、建物跡等の埋蔵文化財の調査を実施します。	21,000	13,395	5,786	5,786	15,214	7,605	6,800			809	1,002							1,002	市長査定により、事業内容の修正を行い、必要額を措置しました。	
7	歴史文化財課	文化財普及啓発費	「草津のサンヤレ踊り」重要無形民俗文化財指定啓発事業	「草津のサンヤレ踊り」が国の重要無形民俗文化財に指定されたため、令和2年5月3日に行われる「草津のサンヤレ踊り」に合わせ、普及啓発事業を行い、国指定となった「草津のサンヤレ踊り」を広く周知します。	4月上旬から草津のサンヤレ踊り保存協議会や観光物産協会、地域のまちづくり協議会等関係者と調整を図り、事業の準備を行い5月3日に啓発を行います。当日は、常盤まちづくりセンターを中心に令和2年に行われる5団体の踊りの同時中継を行うなど啓発事業を実施します。	0	0	0	0	1,350					1,350	498							498	市長査定により、事業内容の修正を行い、必要額を措置しました。	

令和2年度当初予算 復活見積調書(市長)

教育委員会事務局

(金額:千円)

■一般会計

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		部長間調整後		復活見積額	財 源 内 訳					査定額	財 源 内 訳					査 定 額	
						一財	一財	一財	一財		一財	国庫支出金	県支出金	市債	その他		一般財源	国庫支出金	県支出金	市債	その他		一般財源
8	学校政策推進課	学力向上推進費	検定補助事業	・子どもが自らの習熟度に応じて希望する級やグレードの検定を受けるようにし、自律的な学習習慣の形成と学習意欲の向上を図るとともに、目標に到達する喜びを味わえるようにします。 ・英語検定の実施により、検定スコアをもとに英語力の成長を実感することができ、学習意欲が高まります。また、教員が指導の成果を検証できます。 ・漢字検定の実施により、受験級決定までの学習で、児童が自分の習得具合を確認することができます。また、受験級決定から受験日までの期間の学習で、目標を意識し、より学習意欲を高めることができます。	6月:草津市検定事業の実施について保護者周知 10月:英語検定(3年生) 1月:英語検定(1、2年生) 漢字検定(小学4~6年生)	11,993	11,993	0	0	11,235	0	0	0	0	11,235	11,235						11,235	市長査定により、事業内容の修正を行いました、必要額を措置しました。
9	学校政策推進課	学力向上推進費	英語教育オンライン授業およびオンライン授業用ヘッドセット	令和2年度からの小学校英語の教科化に向け、草津市の英語教育の充実を図るため、外国人と英語で直接会話する学習活動を取り入れ、人と主体的・積極的に関わろうとする態度や外国や異文化への興味関心を高め、英語によるコミュニケーション能力の基礎を養います。その中で、パイロット校1校を設定し、現地外国人講師との1対1のオンライン授業を通じて、子どもの言語活動の機会をより充実させ、新学習指導要領で求められている「話すこと」における「やり取り」の力や即興力の向上を図ります。	6月 委託業者決定・契約 7月 実施説明会 9~3月 オンライン授業実施(14小学校実施の内、1校はパイロット校) 2月 成果検証・次年度計画	2,782	2,782	2,407	2,407	144	0	0	0	0	144	144						144	市長査定により、事業内容の修正を行いました、必要額を措置しました。
10	学校政策推進課	体験学習推進費	対話型地域循環コミュニケーション事業	SDGsの理念のもと、自らが能動的に動き出す源となるカリキュラムを活用し、地域の活性化と子どものキャリア教育の充実を図ります。 ・自己肯定感が高くなり、自分のことが好きになる。 ・自分のやりたい事に気づく。 ・将来に向けて自分の生き方を模索するとともに、具体的な展望を持つことができる。	○まちづくり協働課 4月 業務委託 5月 市民対象講演会、ワークショップ 6月 大人サポーター養成講座 ○学校政策推進課 7月 市内1中学校でプログラムの実施	0	0	0	0	311	0	0	0	0	311	311						311	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
11	学校政策推進課	教育情報化推進費	教育ネットワーク機器等リース料(9月~3月)	新学習指導要領において、情報活用能力は、言語能力等と同様に学習の基盤となる資質・能力として位置づけられており、その育成のために、教育ネットワークの整備は必須です。 現在本市で整備している教育ネットワークは、平成26年度のICT環境をもとに設計されているため、その後追加で整備した学習者用端末(タブレットPC)や協働学習ソフトの活用状況によって、通信速度が遅くなったり通信できなくなったりする状況がたびたび起こっています。 そこで、大容量通信に対応するための回線帯域の拡大(200Mbps→1Gbps)、安定したインターネット接続環境構築のためのプロバイダーの冗長化、セキュリティ向上のためのメールサーバの外部委託を行うことで、整備しているパソコン端末やソフトウェアの効果が十分に発揮できる環境を整えます。	5月 売価見積 6月 リース入札 8月 納品 9月~ リース開始	6,566	0	0	0	6,566	0	0	0	0	6,566	6,566						6,566	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。

令和2年度当初予算 復活見積調書(市長)

教育委員会事務局

(金額:千円)

■一般会計

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		部長間調整後		復活見積額	財 源 内 訳					査定額	財 源 内 訳					査 定 果	
						一財	一財	一財	一財		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
12	学校政策推進課	教育情報化推進費	GIGAスクール構想	学習者用端末については、すでに3学級に1学級分配備していますが、ノートなどの文房具と同じように活用するためには、残りの2/3を早急に整備し、1人1台の環境を整えることが必須です。 また、通信不具合によって、授業に支障をきたすケースがたびたび起こっていることから、整備後約10年が経過する校内ネットワークの更新および最新規格への対応が急務となっています。 本事業を実施することで、財政面の負担を抑えながら、ICT環境の充実を図り、より一層の活用を推進していきます。	6月 指名競争入札 7月 納品 8月 リース開始	53,605	53,605	53,605	53,605	289,723	213,229	0	76,300	0	194	0	0	0	2,400,300	0	751,080	0	市長査定により、課題整理の状況から、措置しませんでした。
部合計						3,642,043	829,492	141,792	70,992	3,859,392	500,614	0	2,485,400	0	873,378	3,431,160	279,780	0	2,400,300	0	751,080		